令和４年度　魚沼米の品質向上・収量確保に向けた技術対策

【重点技術対策】　～異常気象に備えた丈夫なイネづくり～

◎　土づくりの推進　◎適期・適正中干しの徹底　◎　斑点米カメムシ対策

重点推進事項	技術対策
気象変動に対応できる土づくりと根域の確保 **・根の活力維持** **・異常気象に備える**	○高温登熟等での品質、収量低下を防ぐため、土壌診断に基づく堆肥や土づくり資材（特にケイ酸）の積極的な施用による地力の維持・向上 ○根域を広げ、根の健全な発達を促すため、耕深 15cm を目標に耕耘作業を実施する。
初期生育の促進と良質茎確保 **・健苗育成** **・良質茎の早期確保**	○健苗育成 ・田植時期に合わせた適期播種の徹底、弁当肥の施用による活着促進 ○地域条件に合わせた適期の田植え ・平坦地：5 月 20～25 日に田植え ・稚苗は 5 月中に田植えを行い、6 月以降は中苗を活用
適期中干しによる適正な生育量の確保 **・大柄にしないイネづくり**	○移植後 25 日を目安に茎数を確認し、目標穂数の７～８割を確保したら、中干しを開始する。（遅くとも移植後 30 日までに開始） ○溝切りは確実に行う。（地耐力の確保、迅速なかん水） ○根の健全化を図るため、中干しは出穂１か月前までに終了
生育診断に基づく後期栄養確保と水管理 **・適正籾数の確保** **・登熟向上**	○生育診断に基づく適正な穂肥施用 ・分施体系は籾数確保と倒伏防止のため１回目の穂肥診断の徹底 ・高温年における３回目穂肥・一発施肥における追加穂肥の実施 ○登熟向上のための水管理 ・登熟期間は飽水管理を徹底し、地力窒素の吸収と根の健全化を図る。 ・落水期は出穂期 25 日後以降とする。
適期収穫と適正乾燥・調製の徹底 **・刈遅れ防止**	○登熟状況に対応した適期収穫 ・出穂後の積算気温による作業計画の作成 ・籾の黄化割合の確実な把握による適期収穫の実践（刈り遅れ防止） ・フェーン等の異常気象に対応した収穫作業の実施 ○籾水分に応じた乾燥温度の設定による胴割粒の発生防止
病害虫防除の徹底 **・耕種的防除と薬剤防除による防除対策の徹底** **・発生状況を踏まえた適期防除**	○斑点米カメムシ類 ・適期・適切な防除の徹底（特に粒剤は、散布時の水深や気象に注意） ・畦畔及び水田内雑草管理の徹底 ・色彩選別機の有効利用 ○いもち病 ・上位葉に葉いもちが目立つ場合や出穂後の気象に応じた防除の実施
異常気象に対応したリスク対策 **・品質・収量低下など気象災害への備え**	○作期分散 ・早生、晩生を組み合わせた複数品種でのリスク分散 ・大規模経営体におけるコシヒカリの播種・移植時期の分散 ○フェーン時等の緊急的な水管理対応 ・緊急情報（注意喚起、技術対策）の発信 ・地域の水利条件に応じた水管理の実践 ○セーフティネットの活用促進 ・技術対策ではカバーしきれない気象災害による品質・収量低下への備えとして、収入保険等への加入促進

魚沼地域農業振興協議会

【魚沼市、魚沼市農業委員会、北魚沼農業協同組合、新潟県農業共済組合、魚沼支所、魚沼市土地改良区、魚沼農業振興部】

【お問い合わせ先】

・ＪＡ北魚沼営農指導課　TEL 793-1770
・魚沼農業振興部　TEL 792-7132